

報道関係各位

2014年2月21日

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

【シリア人道危機】
マララ基金とセーブ・ザ・チルドレンがパートナーシップ
～ヨルダンで新たな教育支援事業を展開～

マララ基金（Malala Fund）と子ども支援の国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンは、長引くシリアの紛争の影響を受けているシリアとヨルダンの子どもたちに対する教育支援を実施するためのパートナーシップを、18日にヨルダンのザータリ難民キャンプで発表しました。



女子教育の必要性を主張してイスラム武装勢力に襲撃されたパキスタン人のマララ・ユスフザイさん（16）は、父親のジアウディン・ユスフザイさん、マララ基金 CEO のシザ・シャヒッドさんと共に訪れたヨルダンのザータリ難民キャンプで、子どもたちへの教育の必要性を訴えました。

「マララ基金はセーブ・ザ・チルドレンと共に、緊急事態で機能するような2つの教育支援事業を始めます。全ての子どもたちが学校に通えるようにしなければなりません。子どもたちをこの紛争の犠牲者にしてはなりません。国際社会は子どもたちを守るために立ち上がり、彼らが未来を描けるようにしなければなりません。子どもたちをロスト・ジェネレーション（失われた世代）にしてはいけません。」

今回の教育支援事業は、多くのシリア難民が避難生活を送っているヨルダンのシリア国境に近い北部地域やアンマンで実施し、シリア人とヨルダン人の教師たちを中心に、9才～17才の学校に通うのが難しい子どもたちに基礎的な読み書きと算数の授業を提供します。また、紛争や騒乱を経験してきた子どもたちに対しては、ポジティブな学習体験となるような、生活に密着した授業も実施します。

■ マララ基金

マララ・ユスフザイさんが襲撃された後に寄せられた寄付金をもとに設立。

■ セーブ・ザ・チルドレンについて

1919年設立。子ども支援の世界的リーダーとして、国連経済社会理事会（UN ECOSOC）の NGO 最高資格である総合諮問資格（General Consultative Status）を取得。日本を含め、世界30カ国の独立したセーブ・ザ・チルドレンがパートナーシップを結び、現在、約120の国と地域で活動しています。

本件に対するお問い合わせ

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 広報 担当 田代範子

TEL:03-6859-0011 携帯:090-6070-3847 E-mail:tashiro.noriko@savechildren.or.jp